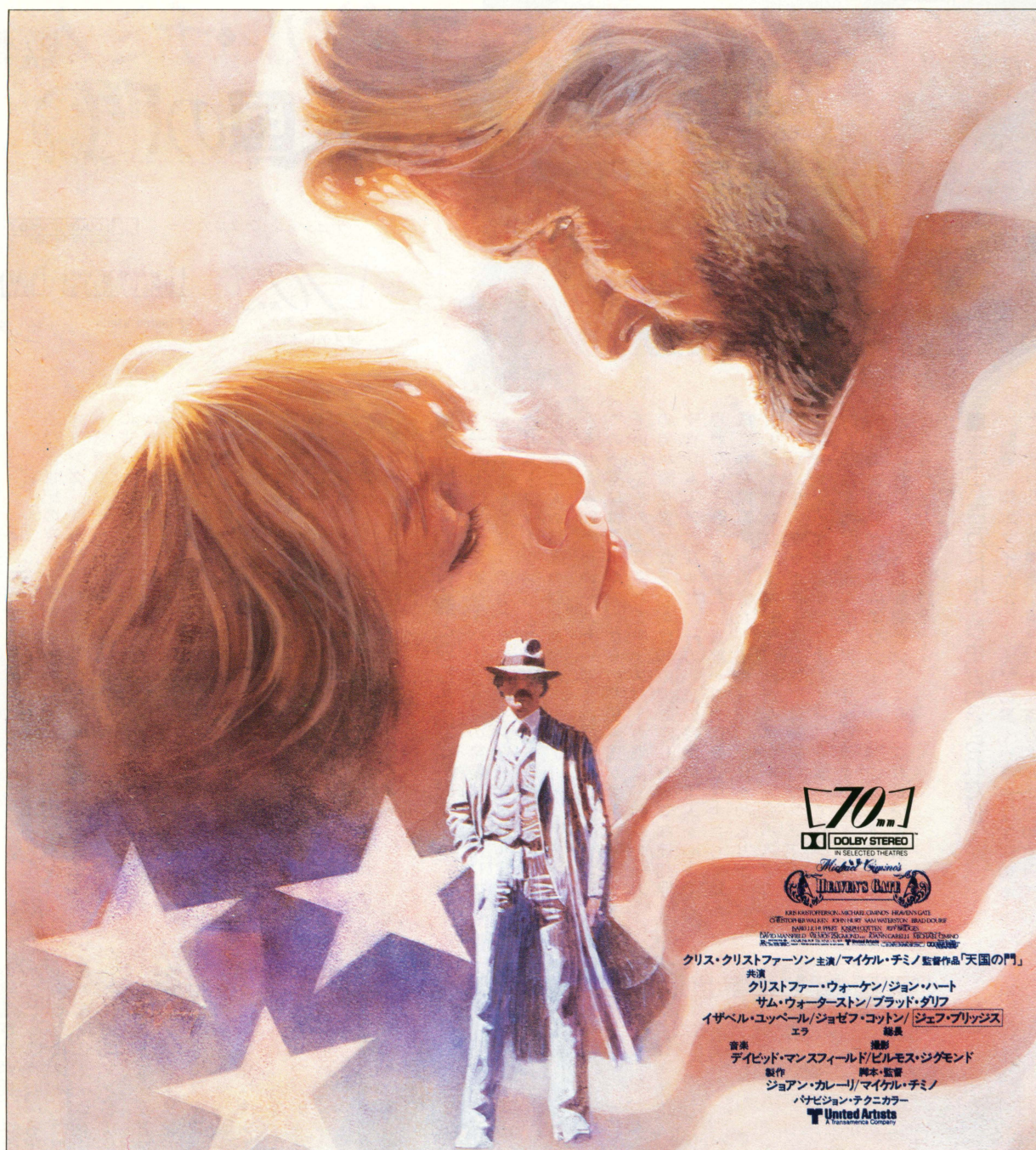


この愛に涙かぎりなくこの戦いに怒り果しなくひとはすべての命をこの大地に賭けた



[70mm]

DOLBY STEREO

IN SELECTED THEATRES



KIRK KROGER, MICHAEL CRANDY, HEAVEN'S GATE
OTIS YOUNG, RICHARD D. KLEIN, GARY HART, GAIL WINGFIELD, BRAD DOOLEY
DANIELA DALL'AGLIA, KIM COTTON, ROY SCOTT
PATRICIA WELLS, GARY HART, GAIL WINGFIELD, BRAD DOOLEY
KIRK KROGER, MICHAEL CRANDY, HEAVEN'S GATE

クリス・クリストファーソン主演/マイケル・チミノ監督作品「天国の門」

共演

クリストファー・ウォーケン/ジョン・ハート

サム・ウォーターストン/ブラッド・ドリフ

イザベル・ユッパール/ジョセフ・コットン/ジェフ・ブリッジス

エラ

総務

音楽

撮影

デイビッド・マンスフィールド/ビル・モリス・ジグモント

製作

脚本・監督

ジョアン・カリー/マイケル・チミノ

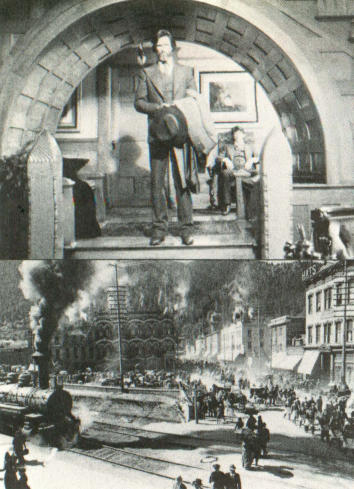
パナビジョン・テクニカラー

United Artists

A Paramount Company

マイケル・チミノ監督 天国の門





マイケル・チミノ 監督 天国の門

パナビジョン・テクニカラー

DOLBY STEREO
IN SELECTED THEATRES

70mm
6チャンネル
超ステレオ音響

HEAVEN'S GATE

United Artists
A Paramount Company

ユナイテッド映画

■映画史上空前の論争を呼んだ

モニユメント大作——！

二十世紀の突入を目前に控えた一八九二年、辺境ワイオミング。荒野にこだました一発の銃声が、西部史上最も悲惨で忌まわしい戦いの火ぶたを切った。既得権確保に走る大牧場主連合対、新天地に夢を抱いて、遠くヨーロッパから乗りこんできた開拓移民たち。のちに「ジョンソン郡戦争」と呼ばれたこの戦いこそ、若きアメリカが、自由と権利を賭けて激突した壮大なスペクタクルだった。

「ディア・ハンター」で、ベトナム戦争に巻きこまれた若者の愛と死のドラマを駆いあげ、見事アカデミー賞に輝いた巨匠マイケル・チミノが、いまアメリカン・ウエストの秘められた歴史の一頁に切り込んだ。企画・製作から公開へ——。映画史上最も轟々たる話題に包まれた10年に一本の超弩級作だ。

■風と共に消えた愛と哀しみの叙事詩——

一八七〇年、東部ハーバード大学の卒業式。希望に燃えて学舎を巣立つ若者たちの中に、ジム・アペリル(K・クリストファーソン)、ビリー・アービン(J・ハート)という二人の親友の顔があった。

それから20年後の一八九一年冬のワイオミング。当時、この一帯にはヨーロッパからの開拓移民が大量に殺到していた。その活気溢れるキャスパーの町に、列車で一人の男が降り立った。いまは40の坂を越したタフな連邦保安官ジム・アペリルだ。一方、この移民の流入を心よく思わない一群があった。東部からの富豪牧場主たちで結成された家畜業者協会だ。そのメンバーにあのビリー・アービンがいた。土地と牛の独占をはかる協会ボス、カントン(S・ウオーターストーン)は凄腕のガンファイター、チャンピオン(C・ウオーケン)を雇って移民の肅清を開始した。そんな時、アペリルとチャンピオンは同時に娼家の若き女主人エラ(リ・ユッペール)を愛し始めていた。西部劇というより、これは愛と哀しみにみちた壮大な叙事詩。

■三千六百万ドルで歴史がつくられた!?

監督・脚本マイケル・チミノの驚くべき完全主義のもとに使われた製作費が何と三千六百万ドル(約80億円)。撮影期間一年。モンタナ州カリスベル、アイダホ州ウォ

＜“天国の門”に寄せられた真実の声＞

我々はカンヌ映画祭における真のイベントを待ち望んでいた。それがこれだ。

——仏ル・モンド紙

ここ数年のアメリカ映画の中で、最も野心的な作品。これを失敗作だとする批評に、私は断固抗議する。

——米NBCネットワーク(ヘン・シャリット)

「天国の門」こそ真の映画叙事詩。俳優たちは素晴らしく、D・マンズフィールドのマンドリン・テーマ、タム・シン・ラーセンの驚くほど精緻なプロダクション・デザインが19世紀西部の辺境をくつきり再現してみせる。まさに驚くべき職人芸。いまこそマイケル・チミノの傑作を堪能する時。

——米ロサンゼルス・タイムズ紙

比類なき美しさと力強さを持った作品。「天国の門」はひとつの叙事詩だ。

——仏ル・ボワン紙

我々は完全に魅了された。チミノは映画詩を作りあげたのだ。すべてのシーンが生きて、輝いている。

——米シカゴ・デイリー・ニューズ紙

まさに疑いもなく衝撃的な作品。その撮影は美しく、その音楽は哀しく、そしてアクションは果てしなくエキサイティングだ。

——米NYデイリー・ニューズ紙

映像パワーが爆発するクライマックス45分の戦闘シーン。ドラマチックな切れ味を見せるアクション・スペクタクル！

——米タイム誌

終始観るものの心をとらえて離さないビル・モス・ジグモンドのカメラ。

——米ハリウッド・リポーター

チミノは一つの奇跡を成し遂げた。19世紀アメリカン・ドリームの消滅を描くこれは哀しみの叙事詩。チミノの限りなくリアルな視点、ジグモンドの撮影、クリストファーソン以下俳優陣の見事な演技が混然一体化したまじきものない傑作。

——米ニューズウィーク誌

近日大ロードショー!

特別鑑賞券¥1200(当 一般¥1500 学生¥1300の処)発売中!

スーパー・シネラマ・シアター

テアトル東京

(562) 5301

日・祝	10:00	平日	12:40	3:30	6:20
-----	-------	----	-------	------	------